

<一般委託>

「驚異の細密表現展」会場施工業務委託（一般委託）仕様書

「驚異の細密表現展」会場施工業務委託に基づく内容は、本仕様書の定めるところによる。

1	目的	「驚異の細密表現展」【会期：令和6年4月20日（土）～6月23日（日）】での作品展示のための会場を設営するとともに、会場誘導のための案内、展覧会告知の看板などを製作し、設置を行う。
2	履行期間	契約日から令和6年6月28日（金）
3	施行場所	横須賀市鴨居4-1 横須賀美術館
4	業務内容	別紙のとおり
5	特記事項	作業に必要な用具類を持参すること。 作業で発生した残材等の不要品は、受託者の責任において搬出し、処理すること。また作業終了後は片付けおよび清掃を行うこと。 作業時間は原則として各日とも9:30-17:30とする。 設置・設営位置などの詳細は担当者と打ち合わせの上、決定する。
6	資格要件	平成30年4月1日以降に、公私を問わず美術館において会場面積600㎡以上の美術展の会場施工業務の契約を元請として締結し、完了した実績があること。
7	契約方法	総価による業務委託契約（一般委託）
8	支払方法	委託料の支払いは、業務完了後一括払いとする。
9	その他事項	この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
10	監督員 連絡先	横須賀市鴨居4-1 横須賀美術館 担当：工藤 Tel046-845-1212/Fax046-845-1216

<指示又は希望事項>

グリーン 物品購入 及び 環境配慮 関係	<p>・この業務を施行するにあたって、仕様書でグリーン物品購入の指示がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品等を納入すること。また、仕様書で特に指示がない場合で委託代金に物品等の購入経費が含まれている場合は、できるだけこの方針に基づく環境物品等の調達をお願いします。 （上記方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照）</p> <p>・本市は、独自の環境マネジメントシステム（YES）により事務事業の環境負荷低減に努めているので、受託者においてもできる限り環境に配慮して業務を執行するようお願いします。</p>
----------------------------------	---

「驚異の細密表現展」会場施工業務委託特記仕様書

- 1 件名 「驚異の細密表現展」会場施工業務委託
- 2 場所 横須賀美術館
- 3 会期 令和6年4月20日(土)～6月23日(日)
- 4 作業日程 業務1、2 令和6年4月7日(日)18時閉館後もしくは4月8日(月)10時開館前
 業務3 令和6年4月13日(土)～15日(月)のいずれか
 業務4 令和6年4月18日(木)
 業務5～12(納品) 令和6年4月13日(土)～15日(月)のいずれか
 業務13、14 令和6年6月27日(木)、28日(金)

※いずれも原則として、9時30分～17時30分までを作業時間とする。ただし、作業が時間外となる場合は、その費用を見込むこと。

5 業務内容

(寸法はすべてmm表示) 数量

1 屋内切り文字看板の製作、取付け 1式

寸法	・t10mm、貼付範囲H1800×W1800 ・30文字程度(展覧会名、会期など)の切り文字 (H400×W1600)
仕様	受付カウンター背面の既存壁に切り文字を貼る。 原稿データは美術館より提供する(レイアウトデザインを起こし、校正は3回行う)。 色は指定色あり。 令和6年4月7日(日)の18時閉館後もしくは4月8日(月)の開館前の10時まで作業を行うこと。

2 入口バナーの製作、取付 1式

寸法	H450×W2400
仕様	美術館正面入口外の底部分に掲示するため、展覧会名と入口を指示するバナーを製作する。 原稿データは美術館より提供する(レイアウトデザインを起こし、校正は3回行う)。 屋外用シートの両面にインクジェット出力(4色)。会期中風雨や日光によって変質しないこと。 上辺は袋縫い仕上げとし、水平性保持および取り付けのためのパイプを通すこと。 結束バンド等(白色)により、パイプと梁とを結束して取り付ける。梁を損傷しないよう留意すること。バンドは1箇所につき600mm程度必要。
設営場所	美術館正面入口外の底部分 取り付け位置の高さ約3000 ※別紙 図面1を参照

3 仮設壁の設営 1式

寸法	H3000×W5500×D500(鉄骨) + H3000×W3000×D500(木骨)
仕様	指定する場所の仮設壁を設営する。 必要に応じて既存壁との接合部分をパテ、水性塗料で調整する。使用する塗料は白色(日本塗装N-95[日本ペイント・N-60・エコフラット・ツヤ消し])とする。 美術館備品の鉄骨骨組みおよび木製パネルの置き場について不明の場合は、事前に担当者から十分な説明を受けること。
設営場所	※別紙 図面2を参照

4 展示室引き伸ばし写真 3枚

寸法	インクジェット出力貼り H1800×W2500程度×3枚。
仕様	展示室内の既存壁に拡大した写真(4色)を貼る。会期後は撤去し、壁を塗装して、原状回復する。原稿データは美術館よりデジタルデータで提供する。
設営場所	展示室2

5 あいさつパネル 2枚

寸法	H900×W600
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

6 章解説パネル 5枚

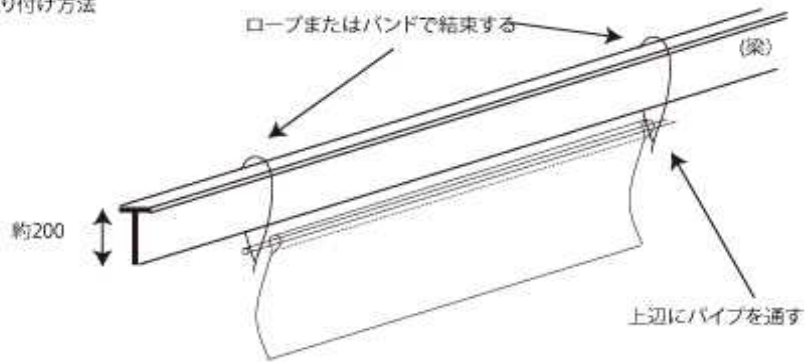
寸法	H900×W600
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

7 作品解説パネル		60枚
寸法	H300×W200	
仕様	和文30枚+英文30枚 スチレンボードにインクジェット出力(1色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起し、校正は3回行う。	
8 作品キャプション(大)		100枚
寸法	H150×W200	
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起し、校正は3回行う。	
9 展示台		2台
寸法	①H300×W9500×D1500 ②H300×W5000×D1500	
仕様	躯体壁につける置き型の台。木製で作業員2～3名が上に乗って作業できる強度があること。 底面と背面を除き、白色に塗装する。 会期終了後は撤去・廃棄する。	
10 目隠しシート		4台分
寸法	(ハイケース1台につき)H300×W2700×1面、H300×W1080×2面	
仕様	既存の展示ケース(ハイケース)のガラス面の上部(各3面、床からの高さ2300～1700の範囲)に、再剥離可能な無色半透明のシート(すりガラス風)を貼付する。展示終了後は剥離し、廃棄する。	
11 展示ケース内置物台		4点
寸法	450×450×H100 4点	
仕様	木材で骨組みを作り、底面を除く5面にベニヤ板(天板はt6mm以上)を張り、紙経師仕上げとする。 経師用紙は鳥の子紙とし、指定色あり。	
12 看板類の撤去		1式
内容	業務1、2で設置した屋内看板、入口バナーを撤去する	
仕様	撤去後の壁面は、接着剤汚れ、ピン穴などが見られないように補修すること。	
13 物品、製作物の撤去、廃棄		1式
仕様	業務4～11で調達、設置した物品を撤去し、製作した製作物を持ち帰り廃棄する。	
14 壁の補修		1式
仕様	作品を撤去した後の、穴、汚れなどが目立たなくなるよう補修を行う。必要に応じてパテ埋めを行ったうえで塗装すること。該当箇所は約100箇所。補修する箇所は、基本的にクギ穴等が生じた部分であるが、展示期間中に発生した汚れ等も含む。使用する塗装は日本塗装N-95(日本ペイント・N-60・エコフラット・ツヤ消し)とする。	
場所	展示室1・2・3、ギャラリー1・2	
15 その他		
(1) 造作物などに関しては、改善点などある場合は提案し、施工図を提出の上、提案担当者との協議の後製作すること。 (2) 展示工作作業監督者(責任者)を指名し作業期間中は作業場所に常駐させること。 (3) 作業の範囲は、該当する箇所の造作物の製作、設置とする。 (4) 作業に必要な機械、工具およびワイヤー、養生テープなど資材は全て持参し、搬入すること。 (5) 作業期間中は、指定場所以外における火気の使用を禁止する。 (6) 検査をおこなう時は、当該検査に立会い、不備な箇所は直ちに手直しを行うこと。 (7) 作業で発生した残材等の不要品は、受託者の責任において搬出すること。また、前回展覧会で設置した壁を撤去する際に発生した残材等についても、搬出すること。 (8) 作業終了後は、後片付け及び清掃を行うこと。 (9) 接着剤は環境対応型のものを使用すること。 (10) 印刷物等はレイアウトデザインを起し、校正は3回行う。 (11) その他不明な点は、当館担当者の指示によるものとする。		

別紙 図面 1 業務 2 入口バナーの製作、取付

- ・バナーを製作し、美術館正面入口外の底部分に設置する。
- ・上辺は袋縫い仕上げとし、水平性保持および取り付けのための角パイプ(20×20、支給)を通すこと。
- ・結束バンド等(白色)により、パイプと梁とを結束して取り付ける。梁を損傷しないよう留意すること。バンドは1箇所につき600mm程度必要。

取り付け方法



取り付けイメージ



別紙 図面2 驚異の細密表現展 会場施工図面

